

ファッション都市福岡「ファイナルディスティネーションプラン2030」

【研究開発の背景】

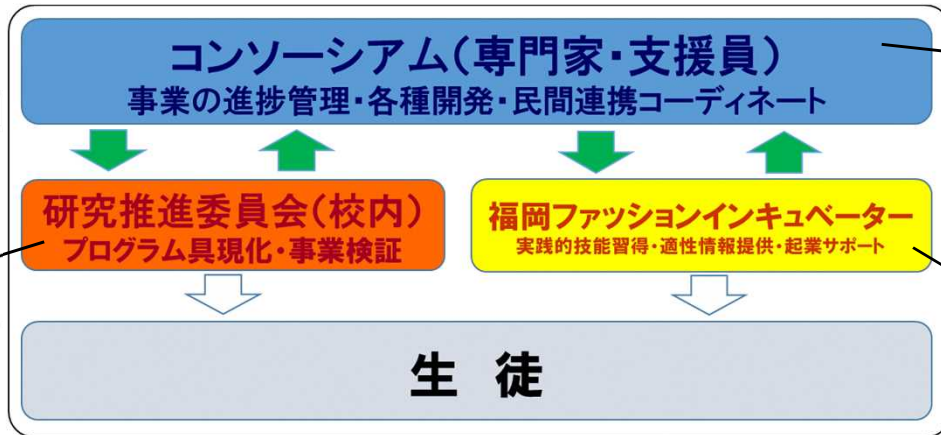
ファッション業界における東京の一極集中状況により福岡の有望人材が流出、空洞化が進行し、地場産業による有能な人材の雇用が困難となっている。また、福岡を愛し地元で働きたいという本校生徒が希望するファッション業界の雇用がなく流出又は方向転換を余儀なくされている。

福岡のファッション関連企業をはじめ、大学、短大、専門学校、商工会議所や行政組織等、多様な団体等から構成される「福岡ファッションインキュベータ」を創設し、福岡のファッション業界を担える高度な資質・技能を身に付けた人材の育成と、本県のファッション業界での活躍を支援する。

【研究開発実施体制】

大学4・専修学校2・民間4・行政機関2・実施校1
 ・事業全体の進捗管理
 ・専門的知見による事業への指導助言
 ・計画実施に際する各種協力

運営指導委員会



大学1・民間4・管理機関1・実施校1
 ・人材育成のためのカリキュラム策定
 ・インキュベータ機能の検討
 ・民間との連携コーディネート

企業・大学・短大・専門学校により構成
 ・学校では学べない実践的技能の習得
 ・進路希望業種の実践による進路選択
 ・起業(自己ブランド創設)支援

管理職3・事務1・教諭8
 ・生徒・学校の課題抽出及び問題提起
 ・策定された事業を教育現場で具現化
 ・事業効果に関する情報の収集・分析

【令和元年度の目標】

- 将来福岡のファッション業界を担える人材の育成
- ・実践的能力獲得のカリキュラム開発
- ・3年間を見通した専門性バランス
- 「福岡ファッションインキュベータ」創設に係る準備
- ・インキュベータ概要・理念
- ・機能・担うべき役割
- ・事業の目的、将来ビジョン
- ・構成する協働企業等
- ・持続可能なシステム

【取組状況】

- 各協議の実施
- ・運営指導委員会2回、
- ・コンソーシアム6回
- ・研究推進委員会 他
- カリキュラム開発
- ・商品開発に係るカリキュラムの開発
- ・職業適性に係るカリキュラムの構想
- 「福岡ファッションインキュベータ」の在り方の検討
- ・社会福祉施設の製品作成協力
- ・地域企業・団体等との新企画立案
- ・ECサイト企業との共同事業実施 他



【成果】

- 「福岡ファッションインキュベータ」の方向性の明確化
- 商品開発に係る企業との新規カリキュラムの開発
- 地域企業・団体との協働による新規イベント企画
- アンケート調査等の収集・分析による生徒実態の把握
- ECサイトやSNSを活用した広報ツールの策定

【課題】

- 専門性の維持・向上に係る教員の技術等習得
- カリキュラム変更に伴う学習内容の検討
- 「福岡ファッションインキュベータ」参画企業の開拓
- 生徒の地域貢献意識の改革
- 地域企業・団体との協力体制の強化